



日本一人口の多い村 よみたんそん

70号 2017年6月
定例議会

平成29年6月末現在
(人口41,401人)

議会だより



議会だよりを書いた「議」の字がむずかしかったです。書いた理由は、みんなにみてほしくて書きました。

しんざと こたろう
題字：新里 胡汰郎
(古堅南小学校5年)

* 読谷村文化協会

第26回 スリー・語やびらしまくとうば

島くとうば大会で「黄金くとうば」を発表した
ピーターパン保育園の園児たち!



主な目次

平成29年 第459回 臨時会 議決結果 平成29年 4月24日

件 名	議決結果
度重なる米軍CH53 大型輸送機ヘリコプターのつり下げ訓練に対する抗議決議	原案可決
度重なる米軍CH53 大型輸送機ヘリコプターのつり下げ訓練に対する意見書	原案可決

平成29年 第460回 臨時会 議決結果 平成29年 4月27日

件 名	議決結果
平成29年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	原案可決
専決処分の承認（読谷村税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承 認
専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	承 認

平成29年 第461回 臨時会 議決結果 平成29年 5月22日

件 名	議決結果
平成29年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	原案可決

平成29年 第462回 定例会 議決結果 平成29年 6月13日～21日

件 名	議決結果
平成29年度読谷村一般会計補正予算（第3号）	原案可決
平成29年度読谷村診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成29年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成29年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成29年度読谷村水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
読谷村個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村表彰条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	原案可決
大湾東線から大湾東3号線の村道認定について	原案可決
座喜味東原1号線から座喜味東原5号線の村道認定について	原案可決
平成29年度村道中央残波線整備工事請負契約について	可 決
平成29年度村道波平～都屋線整備工事請負契約について	可 決
平成29年度村道比謝牧原線整備工事請負契約について	可 決

※ 3 ページに続く

平成29年 第462回 定例会 議決結果 平成29年6月13日～21日

件名	議決結果
平成28年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	報告
平成28年度読谷村水道事業会計予算繰越報告について	報告
米空軍兵による悪質なひき逃げ事件に対する抗議決議	原案可決
米空軍兵による悪質なひき逃げ事件に対する意見書	原案可決
「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限に関する陳情	原案可決
ソフトボール専用球場設置に対する要請書	継続審査
ソフトボール専用球場の建設要請書	継続審査
ソフトボール専用球場設置に対する要請書	継続審査
コミュニティバス（鳳バス）の嘉手納高校への路線新設について（要請）	継続審査
閉会中の継続調査申出について 文教厚生常任委員会 村内の介護サービス事業所の現状調査	決定

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	與那覇 徳雄	知花 徳栄	新城 昭彦	山内 政徳	山城 正輝	仲宗根 盛良	仲眞 朝雄	新垣 修幸	當間 良史	比嘉 幸雄	津波古 菊江	上地 利枝子	上地 榮	伊佐 眞武	長浜 宗則	神谷 嘉栄	城間 勇	國吉 雅和	伊波 篤
米空軍兵による悪質なひき逃げ事件に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米空軍兵による悪質なひき逃げ事件に対する意見書	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限に関する陳情	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。
議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議員については、除と表現しています。

意見書・抗議決議

米空軍兵による悪質なひき逃げ事件に対する 意見書・抗議決議

第462回

可決

- 1、被害者への謝罪並びに完全な補償を行うこと。
- 2、米軍人・軍属等の綱紀肅正を徹底し、再発防止を図ること。
- 3、米軍の「リバティー制度」の遵守を徹底すること。

平成29年6月21日

沖縄県読谷村議会

Q 村政を問う!! 一般質問



長濱 宗則

児童クラブ実施市町村で県内一少ない読谷村の児童クラブ

問 読谷村における児童クラブの実施事業の運営、予算規模、児童数と指導員は何か

答 本村の児童クラブは南児童クラブ1か所、保護者が運営している。平成28年度の決算額は98万1000円の内、補助金は62万5千円、児童数は40名、指導員は5名となっている。

問 保護者からの児童クラブの増設の要望はないか
答 小学校低学年の保護者から問合わせや要望がある。児童クラブのニーズが高いことから、増設を検討していく。

読谷村の小中校混合名簿導入の経緯と目的は

答 村民センター地区の運動施設ゾーンのスポーツ施設は、屋内運動場、テニスコート、ゲートボール場、

答 平成25年度に策定された男女共同参画計画の基、公務研究会で検討し平成29年度から導入、目的として固定的な男女の概念に問われず一人一人がどの社会でも生きていける人権教育の視点に立った考えである。

村内の小中学校のウオシュレットの設置状況を問う

答 渡慶次小2か所、古堅小6か所、読谷中4か所、喜名小、読谷小、古堅中は未設置。

問 今後の対応は
答 毎年学校訪問しているが、学校側から要望はない。設置については具体的な計画はない。学校現場とも意見交換をして必要な部分について対応していきたい。

今後のスポーツ施設建設の計画は

答 村民センター地区の運動施設ゾーンのスポーツ施設は、屋内運動場、テニスコート、ゲートボール場、飲食店カロリー表示支援、

川回る広場、新体育館が計画されている。

問 ソフトボール専用球場の計画は
答 川回る広場にソフトボール球場を2面配置できないか、調整している。

紅イモの生産量減の原因は

答 トリイの工事と読谷中部地区の工事が並行したためと、全体的に不作であった。

問 今後、増産をどう取り組むか
答 バイオ苗を活用し生産農家とコミュニケーションを密に生産性を向上させる取り組み、支援を継続していく。

今月は食育週間であるが読谷村の取り組みを問う

答 食育基本法に基づき食育推進計画を策定し健康・地域・環境の3つを重点に掲げとりくんでいる、食育講演会、健康づくり応援店、飲食店カロリー表示支援、

栄養学習、調理講習会、野菜摂取等がある。

問 家庭、地域、職場での啓蒙推進は
答 家庭では生活リズムの形成や個食の是正、孤食の栄養バランス、地域では人材の育成、食育月間パネル展の活用、食育改善推進委員の活動、職場では手作り弁当の持参等が考えられる。

問 沖縄の伝統料理の普及活動の考えは
答 地産地消の中、学校給食での地元食材を活用している。

よみたん斎苑の駐車場の車止めの設置について



上地 榮

問 現在、45台分の駐車場があるが、車止めがなく危険である。早急に車止めを設置する必要があると思うが今後の計画は
答 村民からも数件問い合わせがあり、早めに設置したい。

トリイ基地周辺の大型米軍車輛を規制できないか

答 道路法による車輛通行の制限は重さ・高さ・長さで指定した制限であり、軍車輛に限り通行規制はできない。

問 今後、倉庫群がトリイ基地に移転した時、大型米軍車輛の通行により更に交通混雑や事故等が予想されるので関係当局に要請できないか
答 平成30年度より農地



大型米軍車輛による交通混雑の規制を!

旧読谷飛行場用地の等価交換の内容と経過は

答 平成17年に策定した跡地利用計画に基づき進めてきた。国有財産沖繩審議会

の審議を経て処分が決定され、平成18年に128.2haの国有地と15.7haの村有地を返還と同時に等価交換した。
問 返還用地の7割(地主)の計画は
答 平成30年度より農地



みらい児童館内南学童クラブの学習風景

所有適格法人へ農地の貸付を予定している。

子ども医療費助成を充実してもらいたい

問 同事業の内容は

答 現在、同事業は所得に
関係なく、中学校卒業まで
の入院費が無料、通院は0
から2歳が自己負担なし、
3〜6歳は1医療機関ごと
に月額千円を保護者が病院
窓口で一時立替し、後日に
口座に振り込まれる「自動
償還方式」をとっている。

問 嘉手納町や北谷町、中
城村と同じように中学校卒
業まで通院の補助ができな
いか

答 財政上厳しい。

問 県も同事業の見直しと
あるが、どうするか

答 県に準拠した内容で助
成しているかと考えている。

救急病院の事業概要、場 所、建設時期は

答 事業概要として急性期
病床と回復期リハビリ病床
を合わせて100床から200床程

度を有する病院である。場
所は村民センター地区で約
3千坪の面積で、建設時期
は沖縄県や関係機関と協議
をしながら、条件が整い次
第に事業を開始する。

村民の所得向上のため、 どうするのか

問 平成26年度の市町村所
得をみると本村は下から数
えて10番目で190万5千円で
県平均の212万9千円より22
万4千円低い状況にある。

所得向上の方策はあるか

答 読谷補助飛行場跡の土
地改良事業、大湾東及び大
木地区の土地区画整理事業
などにより、大型店舗や企
業の進出などに伴い村民所
得は増加すると期待する。

更に読谷リゾート内へのホ
テルの進出や良好な企業誘
致に努めていく。



仲宗根盛良

村内公共施設における遊 具の点検状況は

問 各施設の定期点検の頻
度を伺いたい

答 都市公園と農村公園は
委託業者において毎月巡回し、
点検。保育所や認可保育園
では年一回。各学校では担
当において、目視により毎
月点検の実施。

問 施設管理者との連携は
どのように行われているか

答 委託業者は、報告書を
毎月提出し、修繕を要する
遊具等に対処。

村道敷地へのごみの放置 対策を求める

問 瀬名波地域に長期間ご
みの放置がある。村の対応
経過を伺いたい



村道にあふれた放置ゴミ

答 平成27年8月頃から現
状が確認され、片付けるよ
うに指導するも改善が見ら
れず、その後も所有者が不
在のため直接十分なる指導
ができていない。

問 周辺住民の生活景観、
通行の安全から早めの対策
を求める

答 5月23日に瀬名波自治
会長が本人と会っており、
瀬名波駐在所とも連携を図
り対応して行く。

問 代執行可能な条例制定
も検討すべきではないか

答 改善がなければ道路法
で対処して行く。

人事評価制度の導入結果 の成果は

問 平成28年4月から導入
されたが、職員の評価と反
応はどうなっているか

答 試行段階であるため、
結果は出ていない。

65歳以上高齢者の免許 証自主返納奨励を！

問 高齢運転者の事故が多
くなりつつある。自主返納
の奨励をどのように継続さ
れて来たか

答 広報よみたん3回、他
2の計5回を広報し、これ
からも村民へ広報する。

問 読老連とも、もっと連
携強化ができないか

答 読老連、嘉手納署とも
連携、協議を進める。

第五次基本構想に渡慶次 小学校の移転計画の明記 を

問 基本構想策定年であり、
一番狭い学校敷地であ
る渡慶次小学校の移転計画
の方向性を求めたい

答 校舎の建設計画と狭あ
いな敷地の解消も含め、総
合的に議論していきたい。

問 読谷飛行場の戦後処理
はまだ終わっていない。基地
闘争の歴史と成果を共有し、
内外にアピールする事業の
実施を求めたい

答 平和創造展の20周年記
念計画として、多くの村民
や職員に啓発し、又、平和
コンサートの催しも含め庁
内で検討してみたい。

職員の育休休業取得の指 導徹底ができないか

問 育休の奨励と実績は！

答 育休取得は22名で、男
性職員の実績はありません。



神谷 嘉栄

石嶺傳實村長就任7周年にあたり

問 これまでの村政運営の総括と次期村長選挙への出馬について伺う

答 第19代村長に就任以来、一貫して基本的な人権の尊重、主権在民、平和主義といった日本国憲法の理念に基づいた村政運営に努め、「みんなで作る創造の村」「共に働く協働の村」「その成果を共感できる感動の村」を目標に、返還軍用地の跡地利用、教育福祉、環境等様々な課題解決に取り組んできた。これまでの2期7年余、まさに「創造・協働・感動」のむらづくりを一步一步着実に前進させるべく、粉骨砕身、村政運営への取り組みに邁進してきた。さて、次期村長選挙への出馬については、

村民の健康と生活を守る医療施策の充実や、村民センター地区のさらなる整備、東京オリンピックに向けてスポーツコンベンション誘致促進事業の推進など、名実ともに日本一の読谷村を目指したむらづくりはまだまだ道半ばではあるとの認識のもと、これからも「うまんちゅ揃って日本一のむらづくり」を推進すべく3期目を目指して選挙に出馬する意向を表明する。

村民の健康と生活を守る医療施策の充実や、村民センター地区のさらなる整備、東京オリンピックに向けてスポーツコンベンション誘致促進事業の推進など、名実ともに日本一の読谷村を目指したむらづくりはまだまだ道半ばではあるとの認識のもと、これからも「うまんちゅ揃って日本一のむらづくり」を推進すべく3期目を目指して選挙に出馬する意向を表明する。

問 現在の進捗状況を伺う

答 6遺跡のうち、4遺跡は範囲確定ができています。範囲未確定の2遺跡と未調査地区が残っている。

問 今後の発掘調査の進め方を伺う

答 平成29年度で試掘・範囲調査を完了する。

問 埋蔵文化財の保全の基準と保存方法を伺う

答 基準となるのは文化財保護法で、保存方法は現地保存と記録保存がある。

瀬名波通信施設跡地における埋蔵文化財調査

問 今までの経緯と調査結果を伺う

答 平成22年度から文化庁の補助事業で試掘調査を行ってきた。平成22年度1カ所、23年度3カ所、26年度1カ所、平成27年度1カ所

の遺跡が確認され、これらは出土遺物の年代から13世紀から14世紀ごろのグスク時代の遺跡と思われる。

問 発掘調査をする上で、跡地利用を推進していく関係部署とどのような連携を図っていくか

答 本村農業推進課や沖縄県中部農林土木事務所等と情報を共有し、瀬名波地区農業担い手育成畑総推進会の協力を得ながら事業を推進していく。



遺跡範囲確認調査

交通安全対策

問 役場正面前道路にて、右折車両同士の安全策は講じられないか

答 役場正面前の道路中央部へ、赤い支柱のようなポストコーンを設置することで安全策が図れると考えている。

土壌分析について



新垣 修幸

問 作物を栽培する上で土壌分析は重要、手法と分析結果後の指導は、いかように行われているか

答 先進農業支援センター内の土壌分析室にて行い、年間を通して依頼を受けている分析機により分析を行い、畑からの採取された土壌中のOEC・PH・EC・腐植・リン酸、カルシウム、カリウムの量を数値化、分析結果を基に処方箋を作成しその畑の土壌に対して必要な施肥量について指導。

問 大木自治会がスイカ祭りを通し地域活性に取り組んでいる。スイカ作付前の土壌分析は？

答 把握していない。

問 生産農家の収益アップのためにも周知を徹底的にして頂きたい

答 広く村民、農家への周知に努めていきたい。

読谷村の観光産業について

問 中、長期的展望に立つた取り組みを伺う

答 これまで推進してきた読谷型観光の核となつて自然、歴史、文化の保全、継続を図りながらこれらを活用し加えて農漁業、伝統工芸、商工業やスポーツコンベンションなどの資源を活用した多様なツーリズム

問 周知はいかように

答 130〜150件



新城 昭彦

波平大当地域の排水路計画について

問 縦線の道路排水整備はどのように考えるか、6号線の排水路に接続が可能なか

答 当該地域の道路排水を県道6号線に接続することについて、県道路管理者の見解は県道6号線を流域として排水断面が検討・決定しており、当該地域からの道路排水の接続は難しい。

問 大雨などの雨水対策は

答 現在、具体的な対応策に至っていない、関係課と調整等を行い、検討したい。

問 全体的な雨水排水の整備計画は検討されているか

答 縦線の道路排水整備と全体的な雨水排水の処理対策等を現在、当該地区も含めた全体計画を策定している、

全体計画を基に補助メニューの活用も含め、関係課及び関係機関と調整等を行い取り組みたい。



大当地区に早急な雨水、排水整備を！

都市計画課、村民センターの整備、パークゴルフ場の整備は施設整備係および都市計画課へ移管、運動施設整備の管理運営は生涯学習課になる。

問 現在、跡地利用計画が進められている地主会と面積は

答 跡地利用計画が進められている地主会は、7か所・面積は433.8ha

問 担当職員は何名か

答 所管する課は4課、担当職員は兼務職員になるが延べ12名に係長職がつく。

問 世帯主や該当者数は

答 平成28年10月現在、高齢者単身世帯1,678世帯、1,678人、高齢者のみ世帯1,165世帯、2,330人。

高齢者世帯や一人暮らしの安心安全について

問 旧跡地利用推進課の担当部署の対応は

答 平成28年度の機構改革に伴い跡地利用推進課は廃止され、読谷補助飛行場所有権回復地主会や基地関係に係る全緊業務を企画政務課

北地区、楚辺通信所跡地、大木南土地区画整備事業等

問 高齢者世帯や一人暮らし世帯への声かけや見守りの取り組みは

答 平成27年度から、平時の見守り支援活動として、地域で総合的な支え合いの体制づくりを行う「地域支え合い活動委員会」が設置され地域で声かけ見守り活

動を展開している。現在、長浜、大木、渡慶次、宇座、大添、瀬名波、都屋、古堅の8自治会で活動が行われ、また同活動に、郵便局、琉球新報販売店「16か所」沖縄タイムズ販売店「14か所」沖縄ヤクルト読谷センターの企業との協定、その他、認知症見守り協定（嘉手納警察署）の協力をいただき日頃の見守り活動を行っている。

問 古堅南小学校近く（セントラルモーターズ近隣）の沖縄防衛局管理の返還跡地内のフェンスが切られ、不法に投棄された家庭内ゴミや廃材、タイヤ、扇風機等々のゴミが散乱している。子供達の遊び場になっていて地域住民の安全、安心な

問 各自自治会のデイサービスへの参加呼びかけは

答 各地域自治公民館で実施のゆいまゝる共生事業への参加呼びかけは、ボランティア、地域支え合い活動委員会、民生児童委員公民館職員、各関係担当課。

問 公園利用者が増えており雨や日除け等の休憩の場所として東屋設置が牧原自治会よりあるが見解は

答 改めて牧原自治会と協議していく。



津波古菊江

大木・大湾地区軍用地返還跡地内のゴミの不法投棄の現状について

暮らしの環境を阻害している事に対して見解を伺う。

答 廃棄物の撤去については沖縄防衛局が適切に処理を行い、安全管理の為、破れたフェンスを補修し、立ち入り禁止を周知するための看板を設置して対応を行う

伊良皆、大湾排水路の側面の雑草の除去について

問 この場所は過去に台風による大雨で冠水の被害が起きた場所で地域住民から雑草の除去作業を望む声があるが対応について伺う

答 現場を確認し作業着手に向けて進めている。

問 各自自治会のデイサービスへの参加呼びかけは

答 各地域自治公民館で実施のゆいまゝる共生事業への参加呼びかけは、ボランティア、地域支え合い活動委員会、民生児童委員公民館職員、各関係担当課。

牧原公園内に東屋の設置要請について

問 公園利用者が増えており雨や日除け等の休憩の場所として東屋設置が牧原自治会よりあるが見解は

答 改めて牧原自治会と協議していく。



不法に投棄されたゴミ

役場マイクロバスの日差し対策について

問 マイクロバス利用者から日差し対策を希望する声があるが見解を伺う

答 現車輛は今年度新車への買い換えを予定しており車輦購入の際には日差し対策としてUVカット機能付濃色ガラスの準備を行う。8月発注で12月納車予定。

件、宿泊日数は把握していない。国名は香港、台湾、中国で経済効果と個人型観光、団体型観光についての人数の把握は出来ていない。

問 他言語パンフレットは何か国語で書かれているかまた、活用法について問う

答 英語、中国語、韓国語で国内外のツーリストやウエディング関連会社に配布又直接フェア等で紹介している。

ヨミタン情報発信事業について

問 外国人観光客の受け入れ体制について個人旅行、団体旅行等への言語の課題は

問 読谷型観光の振興とは
答 豊かな自然と文化、歴史を継承、活用し本村特有の観光資源で付加価値を高め、村民とのふれあい、交流等を実現して「よみたん型ツアーリズム」の確立を目指す

答 外国人向けの一部多言語表記の観光パンフレットを作成しており、村内の観光施設で活用されているが語学を話せる人については人材が不足だが育成については官か民間主導がいいか検討したい。

問 リゾートウエディング等で来村の外国人観光客の実績と宿泊日数、国名は
答 平成28年の挙式組数496



山内 政徳

無料塾について

問 読谷中学校区に、もう一カ所必要と思うが、準備はどうか

答 読谷中学校区への開設につきましても場所の選定及び賃貸契約を終えた後、仮入塾の児童生徒を対象に7月21日から開校予定とのこと。

問 高校生対象の無料塾の準備はどうか

答 読谷村、嘉手納町、北谷町の高校2・3年生を対象に嘉手納町内に教室の開設を予定募集は6月12日から6月16日で募集人員は24名申込用紙の配布並びに申込み申請は尚学院中部校で行い、支援決定は6月23日に直接電話で行われ、講座開始は

6月26日。



無料塾での勉強風景

平成30年度から始まる国民健康保険事業の課題について

問 沖縄県の中心的運営によるメリットについて

答 財政的に安定した運営が可能になる。

問 沖縄県と読谷村の役割について
答 県は財政的な運営を行い、村は保険税の賦課、徴収と医療給付及び保険事業についてはこれまで同様実務を

行っていく。

問 一般会計からの法定外繰入について

答 お答えすることができない。

問 保険税決定、賦課徴収方法について

答 県が算出した納付金額と標準保険税率を基礎に、加入者に対し保険税の賦課と徴収を行う。

問 被保険者の負担軽減について

答 被保険者の負担軽減についてはお答えすることができない。

問 健康保険値上げを反対してきた。しかし評価もしている。読谷村の安田村長の初年度平成10年から国保に一般会計から多くのお金を繰入れてきた。安田村長の時に23億275万6千円、石

5千万円を国保に繰入をし

ている。県一本の国民健康保険事業になってもそういう姿勢を堅持していただくようお願いをしたい

読谷の待機児童はどうなっているか

答 28名と認識している。

問 これは仕方がないと理解するのか解決すべきか

答 保育所に入所できなかった児童に対しては村としては何らかの手だてを考えていかないといけないと思う。

各小学校のトイレの洋式化はどうなっているか

答 渡慶次小学校53.7%、読谷小学校34.4%、喜名小学校55.2%、古堅小学校88.1%、古堅南小学校54.5%となっております。



比嘉 幸雄

ゆいまーる共生事業

問 この事業は各地域とも婦人会員で成り立っていると思われる。婦人会組織の衰退こそが、ボランティア不足の原因では

答 今後も協働体制は取っていききたい。

問 利用対象者は、活動資金の算定基準は

答 老人クラブに参加出来ない高齢者や要援護者。各自治会で参加者割と助成補償割算定

問 村内婦人会活動が出来なくなつた地域もあると聞く。この危機意識はあるか

答 社会教育団体は会員が減っている。声掛けしながら一緒にやっていきたい。

問 助成補償割算定とは

答 平成26年度からの行政区域設定で自治会から出していた助成金等は原則なくし、出していた分に伴う、補償を補助金として交付

問 老人の家庭内引きこもり防止を目的にこの共生事業は活動し始めて、来年で30年目を迎えようとしている。ボランティアも平成20年頃から少なくなり、現在喜名では16人から18人の状況は

答 県内未策定は読谷村と伊平屋村のみ。

問 ボランティアの高齢化が深刻でなり手もない。将来の共生事業の展望は

答 ボランティアについては、なり手がいないとの声がある。今後、高齢化社会の進展が予想されるが、現在のスタイルを維持できるよう努力する。



ゆいまーる共生事業のゲーム風景

から午後2時頃まで活動している。将来ボランティアへの特典付与はあるか

答 これからの検討課題である。

「国民保護計画」について

問 「国民保護計画」の策定

答 市町村の区域にかかる国民保護のための措置を、的確かつ迅速に実施するための行動計画。

問 「国民保護計画」とは

答 武力攻撃事態等において、市町村の区域にかかる国民保護のための措置を、的確かつ迅速に実施するための行動計画。

読谷中学校跡地について

問 利用計画が進展しないのはなぜか

答 インフラ整備等の課題整理のため、各課調整等に時間を要したため。

問 上の校舎と運動場間の

答 調整はついており、次期整備計画に盛り込まれてくる。

問 その時期は

答 予備設計を入れ、次年度実施設計の予定



仲眞 朝雄

「ゆいまーる共生事業」について

及びレクを通じた世代間交流など。

問 備品支給の内容は

答 カラオケ機器、血圧計、マッサージチェア、体脂肪計、健康体操DVD、レクダンス用DVDなど。

問 利用者、ボランティア数の変遷は

答 過去5年分の登録者数
平成24年度 利用者数878人
ボランティア633人
平成25年度 利用者数889人
ボランティア687人
平成26年度 利用者数914人
ボランティア616人
平成27年度 利用者数1,039人
ボランティア692人
平成28年度 利用者数1,089人
ボランティア770人

問 現在、そして将来的な課題は

答 運営がボランティアの確保、男性の参加が少ない。将来的には、利用対象者の増加に伴う場所、スペースの確保、ボランティアの確保参加型から参画型への移行。

問 その活動内容は

答 各自治公民館を拠点とした健康づくり、生きがい、ふれあいづくりが柱。具体的には、血圧測定、問診等が必要なら見直しも含めて対応したい。

問 字からの助成金についての見解は

答 平成26年当時の事実関係を調べる。その取扱いに關して、自治会とも相談をさせていただきたい。

「学校の社会性」について

問 管理職以外で名刺を持つ職員はいるか

答 小学校で指導主事補や教科アドバイザー等で2名。中学校では、学年主任や3学年担任・事務主査で16名。

問 名刺は必需品と考えるがどうか

答 教員の職務内容が児童生徒の指導であることから必要ないとの意見が多い。教職員の自主性に任せたい。

問 部活も活発で校外からのコーチも多い。家庭訪問、職場体験、登下校指導、地

域行事など校外に関わる事は多い。開かれた学校をさらに進める意味で教職員が名刺を持つことを読谷村が先んじて奨励してはどうか？

答 奨励はするが、自主的に必要性を感じたときにはつくるべきではないか。今後先生方とも議論をし、開かれた社会教育課程という形で進められたらと思う。



ゆいまーる共生事業での1コマ



與那覇徳雄

読谷村外出支援サービスについて

問 身寄りのない方の通院介助をどの様に考えているか、家族又は扶養義務者の付き添いがなければ利用することが出来ないか

答 現状は付き添い及び介助の同伴がなければサービスを利用することが出来ない。今後、利用希望者の実態調査・把握をする際の多様なケースを検討して対応策を考えたい。

問 非課税高齢者世帯の利用に取組む考えは

答 他の福祉サービスや移動手段で対応できないケースを検証し、対象非課税高齢者世帯を選定、利用対象者として検討する考え。

村道の外側線及び歩道設置について

問 村道の外側線を年次的に引き直す考えは

答 安全施設工事費で実地、予算の範囲内で対応している。

問 夜間に自動発光する機器の村内の設置箇所は

答 5カ所の村道に設置。

問 渡慶次小学校から宇座5班までの間の歩道設置はどのように検討されたか

答 財政面から現段階での整備は難しい。歩道整備までの安全対策として、車道幅員を狭め、歩行空間の確保に取り組む考えである。

問 自発光機器の効果は

答 道路緑線の視認性を高め、ドライバー視線を正しく誘導する効果がある

問 歩行空間とは歩行帯と理解していいか。歩行帯は片側だけなのか、両側考えているか。どれくらいの幅

か

答 片側部分75cm以上の歩行空間の確保が出来ないか検討の考えである

問 暫定的な対応であると認識していいか

答 歩道整備が出来るまでの暫定的な安全対策の考え

交通安全対策及び点字ブロックについて

問 村道渡慶次〜波平線の優先道路車道に事故注意の喚起表示が出来ないか

答 波平3号線、4号線が交差する十字路であり速度規制の路面表示の設置を検討する。

問 速度抑制の道路標示の設置検討とあるがどういった表示を考えているか

答 文字標記ではなくV字の山形標記で減速を促す。

問 村内の点字ブロック歩道は何か所か

答 点字ブロックが設置されている村道は12路線

問 読谷郵便局から旧役場迄の点字ブロック歩道が危険であり、対策が必要だが

答 県中部土木事務所が現地調査、修繕について検討

問 点字ブロックの点検及び12路線で破損している点字ブロック箇所はないか

答 道路巡回パトロール等で点検、破損箇所はない

問 早急な修繕を求めているが調査結果の確認後、現場の状況を改めて訴える



注意喚起が必要な交差点！（村道渡慶次〜波平線）



上地利枝子

第2次読谷村地域福祉計画について

問 「地域支え合い活動委員会」の設置と活動状況

を図り、早い時期に設置及び指定できるよう医療及び福祉関係機関等と条件整備を行いたいと思う。

答 相談内容は、不登校、友人関係、問題行動、家庭のこと、自分のこと。対応として、その都度関係する先生方で指導し、スクールカウンセラーや心の教室相談員と連携を取って課題解決に努めている。

中央残波線沿いへの防犯灯設置について

問 通学する子ども達、健康づくりのためウォーキングをしている村民が多くなっている。早急に防犯灯の設置が必要だと思うが、設置予定について何う

答 村社協のコミュニティソーシャルワーカーを中心に、自治会長、民生児童委員、地域住民の皆さんなどで構成、主な活動内容は地域課題の抽出、困り事を抱える方の把握をすること要援護者に該当する方の把握を行う。

問 地域福祉推進委員会の設置状況

答 福祉事業の推進及び事業評価、進捗管理等を行うための委員会で、福祉、保健医療、教育等多岐にわたる福祉事業に関連する方々を構成員とする組織を考えている。平成30年4月の地域包括ケアシステム構築における協議体との関連もあることから総合的に取り組む、関係する機関・団体との連携をより深め、福祉サービスにおける体制づくりとして、今年度、同委員会の設置に取り組むたいと考えている。

問 スケートボード場設置予定について

答 現在、設置に向けて財源の調整を行っているところ。



城間 勇

地域資源と連携した読谷型観光の在り方についても議論を深めていく。

石嶺村長就任7周年について

問 石嶺村長就任7周年になります。村政運営に総括と今後の課題、解決に向けての方策について何う

問 古堅の縦4本の道路について、古堅区民は区民負担年間39万円で道路を使用してきた。村道認定できるようにしてもらいたい。村道認定に向けての取り組み状況等について何う

答 これまで多くの関係者のご協力により、日本国憲法の基本理念に則った村政運営に努め「みんなで作る創造の村」「共に働く協働の村」その成果を共感できる感動の村」を目標に、返還軍用地の跡地利用、教育、福祉、環境等様々な課題解決に取り組む、一定の成果を得ることができたものと考えている。大湾東地区における大型商業施設の設置や新たなリゾートホテルの村内への進出等、本村の経済振興に資する事業展開が図られており、本村の豊かな

答 村道中央残波線は、読谷中学校生徒の通学路にもなっており、防犯灯整備は必要だと考えているが、電柱がないため防犯灯設置が行われていない。今年度予定している沖縄安全対策事業で中央残波線の防犯灯設置を模索しましたが、村道楚辺座喜味線と村道村民センター線の整備を行うことになり、中央残波線への防犯灯設置は今のところ予定はない。

問 福祉避難所の設置は何か所指定してあるか

答 現在は指定していない。村地域防災計画との整合性を図る。



村内にスケートパーク場を!

答 当該道路の村道認定については、現況の道路幅員が狭く、村道認定基準の道路幅員4.5m以上を満たしていない状況にあり道路拡幅工事を行う必要がある。その道路拡幅に伴う道路用地の取得や物件補償等について、関係地主等の理解及び同意が得られることが村道認定の条件であることから、古堅自治会長へ説明をし、現在その同意作業を行っている所である。約70%の同意率と聞いている。

問 青少年センターでの児童生徒の相談内容と対応について何います





村道認定が求められてる古堅地域の道路

問 古堅871番地から古堅869番地間の生活道路や周辺地域の横の生活道路の整備について何う。

答 現在、各路線の現状把握として、道路の高さや縦断勾配等を調査しているところ、その調査結果をもとに、雨水の処理方法等について検討し、古堅自治会長及び関係者と調整等を行い取り組んでまいりたい。

村道の除草について

問 村道泊城線の歩道沿いに雑草が繁茂している。児童生徒の通学路でもある。イオンタウン読谷店や、泊城公園への通行道路で、観光振興の面からも定期的な除草作業が必要と思うが

答 道路外から繁茂している雑草等については、土地所有者に対し除草などの指導を行っている。また、村道泊城線の道路敷地内から生えている雑草については、読谷村シルバー人材センターと委託契約を交わし除草作業を実施している。



山城 正輝

安倍総理の2020年憲法改悪計画に反対すべきこと、かつ、安保やむなしは矛盾しないか、安保は矛盾しない！

やむを得ない。憲法改正の必要性がないことと矛盾するものではない。

ダイオキシンの等汚染問題を本格調査すべき、多額の経費が必要、国等と折衝！

問 3月議会以降、国県との交渉は、どうなっているか
答 交渉は、行っていない。

問 汚染除去は国が妥当、処理作業は、村がしなければならぬという真意は何か。
答 当時の管理責任は国、よって国の汚染除去が妥当。村としては、村民に関わる問題であり、解決されるよう努力していく。

問 4億5千万円程かかるという調査を早急に開始する
答 住民を守る手段として

べきではないか
答 今後とも、国等と折衝していく。

旧飛行場跡地利用における新農地法人の活動は、どうなっているか、農業関係者以外の者の参加が緩和！

問 旧農業法人から新農地法人に変更されたため、変わったことは何か
答 「構成員要件」「役員要件」等が見直され、都市部にいる地主関係者も参加できるようになった。

問 平成29年度に換地終了する予定という作業はどうなっているのか
答 中部農林土木事務所が作業を進めていて、業者発注を終えている。

問 旧地主関係者が新法人へ参加することが急務というがどうなっているか
答 説明会を通して、周知に努めている。

園等各小学校区へも乳幼児遊具を設置すべき、泊城は、バイパス用地で考えてない、座喜味は、別の公園でやる！

問 セーラ、残波公園遊具設置実現への反応はどうか
答 多くの方々が利用している。

ヤチムンの里、座喜味城跡地区景観助成を拡大できないか、赤瓦200万円、石垣50万円、生垣20万円まで。7月3日から受付開始！

問 平29年度の問い合せ等の実績はどうなっているか
答 問い合せ2件、申し込みは、現在の所ない。

世界遺産地域座喜味自治会への字別構想事業は、どうなっているか、井泉遺跡ジョーガー、ミージョガー、モーガーの景観転落防止修理！



役場入口に建つ九条の碑！戦争放棄・戦力不保持・抗戦権否定

泊城公園、座喜味城跡公園



當間 良史

補助飛行場跡地利用計画から

問 長年地域が切望している読谷補助飛行場跡地「北地区」の南側、通称「せせらぎ広場」公園整備の進捗状況は

答 「北地区」の整備とは別に、早期に実現できるように、事業採択に向け準備中である。

問 跡地利用計画の中で「せせらぎ広場」と「川回る広場」の二つの名称が混在しており、地域は混乱している。混在している理由を問う

答 平成24年に策定した読谷村民センター南側地区等基本計画調査業務において名称を変更している。どちらの名称も計画の中の名称であり、事業を進める

中で検討していく

問 飛行場跡地利用計画全体の進捗状況は

答 先進農業集団地区では、農業基盤整備及びかんがい排水事業が今年度で完了予定。村民センター地区では今年度にパークゴルフ場の整備が着工予定。道路については

国道読谷道路の一部が開通しており、村道中央残波線については全線開通予定。また村道波平都屋線、村道楚辺座喜味線が開通している。

「オリンピック正式種目であるスケートボードの専用パークの早期整備を！」

問 2020年東京オリンピックからサーフィンとスケートボードが正式種目に認定され

村内でも多くの方がサーフィンとスケートボードを楽しんでいるが、スケートボードはサーフィンと違って自然の中で行うスポーツではなく専用のパークが必要

と考えるが

答 スケートボード専用のパーク場の必要性はあると認識しており、公園整備事業計画の中ではスペースの問題から、以前からある残波岬公園内のスケート場を考えている。

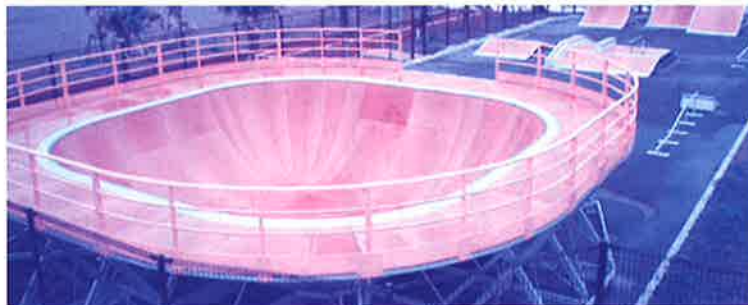
問 残波岬公園まで車でいけない子供たちの事を考え、村民センター地区周辺の公園やロードパーク構想予定地など、子供たちが利用しやすい環境が先決だと考える

答 ロードパークは基本設計までは終了しているため、変更には時間がかかる、当面は残波公園を基本に、スケートを楽しんでいるメンバーの意見交換を行っていききたい。

問 今後のスポーツコンベンションの推移は

答 現在野球、サッカー、男女ラグビー、女子ソフトボール、パラ陸上競技、の

他に、来年からビーチバレーの方も環境が適しているのではと関係者から伺っている。今後とも積極的に取り組んでいきたい。



豊見城市豊崎にあるスケートパーク場！

読谷村議会 議員互助会 ボランティア クリーン作業を実施

第6回目

日時：平成29年6月29日（水）
場所：村道楚辺座喜味線
（読谷中学校沿い）
人数：10名



閉会中の各委員会活動

総務常任委員会

本委員会は平成28年12月19日から平成29年5月30日にかけて「読谷村の地域防災計画」について、村執行部や二ライ消防職員からの聴取をはじめ本村における自主防災組織（渡具知、大添、楚辺、長浜、都屋）を訪問するなどの調査活動を行ってきた。その結果、東日本大震災や九州の熊本県や周辺県における地震災害が発生しているが、本県においても琉球大学理学部の中村教授によると今後30年間に震度6以上の地震の発生の可能性が那覇市において20%から38%もあると言われており、決して油断は出来ない状況にある。そこで、本委員会としては執行部に対し下記の事項等について提言をしてきた。



記

- 1、読谷村防災対策事業5ヶ年計画（H28～H32）を確実早急に実施できるよう取り組むこと
- 2、自主防災組織の充実拡大のため、自治会長を被災地へ派遣し研修を実施すること。
- 3、村民の防災意識を啓発するため、地震、津波、防災訓練についての専門家を招いた講演会を少なくとも年1回は開催すること。
- 4、防災無線及びFMよみたん等の防災情報の周知体制を早急に確立すること。
- 5、避難場所の確認を含め避難経路を確認して防災訓練を各行政区において行うこと。

建設経済常任委員会

建設経済委員会は平成18年～19年にかけて各字から要請があった生活道路（80件余り）の内未整備の37件について調査を行った。

- 1、37件中4件については生活道路事業としての対応では無理があり、事業変更を行い対処する必要があること。
- 2、申請箇所における里道路の管理においても一部不適切な占有や清掃管理指導の場所があり、適切な指導が求められる。
- 3、生活道路事業の申請に際し、再度自治会長会で説明会を行い共通認識をする必要性がある。
- 4、申請箇所周辺の地権者への同意作業に関し、利害得失が見受けられ、当該自治会長の努力が最大限必須であることが伺える。
- 5、生活道路は再調査を入れて、再編成をする必要がある。



文教厚生常任委員会

「村内の介護サービス事業所の現状調査」

- 1、要支援、要介護の利用者の内訳
- 2、職員の社会保険の有無について
- 3、平成30年度以降の要支援1～2の方の対応について
- 4、村内の介護サービス事業所は利用者の需要を満たしているか
- 5、職員体制は満たしているか



認知症予防など、わんからデイサービス

議会活性特別委員会

議会活性特別委員会では「村民に開かれた議会」のなお一層の実現と効率的で迅速な議会運営、議会活性化、危機管理体制の強化など、さらなる議会改革推進を目指し議会における「ICT技術」を活用した議会を研究しています。

その一環としてのタブレット端末や会議システムを活用したペーパーレス研修の風景。



村功労表彰 前村議4人も受彰

読谷村は、7月25日、第7回村功労表彰式典と祝賀会を開催し、27個人と10の団体・企業を表彰した。これは、読谷村表彰条例に基づいたもので、村の発展及び地域の振興に功績のあつた皆様に対し、敬意を表すために行われたものである。

功労表彰には、次のような表彰部門がある。

自治功労、産業経済功労、教育文化功労、福祉功労、伝統工芸功労、一般公益功労である。

式典、祝賀会には、受彰者とはもとより、ご家族、そして大勢の関係者が出席し受彰を祝い功績を讃えた。

また、受彰者を代表してあいさつに立った、教育文化功労受彰者の喜屋武洋子さんは、教職員の間や教育委員時代、多くの皆さんに支えられたからとあると振り返り、今後教育のため力を尽くしたいとお礼と抱負を述べた。

今回、前村議会議員の4氏も、自治功労部門表彰を受けられており、まさにご同慶の至りに存する次第である。

照屋清秀前村議は、4期16年間の務め、その間副議長、基地特委員長の要職を歴任した。現在は喜名草刈隊の隊長、喜名小学校70周年

記念事業期成会長を務め、地域コミュニティづくりに尽力している。

嘉手苺林春前村議は、行政区長を7年、村議を4期16年務め、議会活性委員長や議会選出監査委員等を歴任した。よみたん民泊協力会10周年記念事業対外事業委員長を務め、村観光の発展と教育民泊の振興に活躍中である。

比嘉郁也前村議は、4期16年務め、その間総務委員会正副委員長、議運委員長の要職を歴任した。

現在は波平老友会の書記をなさる一方、マンゴーを栽培し、ファーマーズ読谷などへも出荷しており、農業振興へも一役買っている。

常山勝吉前村議は3期12年務め、建経委員長、議運副委員長等の要職をこなした。現況は、大木若松会の会長、読谷村精神療養者家族会会長として、福祉の向上のため力をふるっている。

このように、多くの受彰者がいまなお各方面で活動中であることにさらに大きな喜びを感じるものである。

この受彰を機に益々の地域貢献と福祉の向上に力を発揮していただくことを期待する。



村功労表彰受彰者の晴れの表情



りっかりっか読谷村議会

6月定例会での傍聴者は、延べ40名でした。

平成29年9月定例議会は9月12日(火)から28日(木)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225